

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月17日

計画の名称	豊橋市の安全・安心かつ快適に暮らすことができる、未来へつなぐまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	豊橋市												
計画の目標	本市は中心市街地を取り囲むように良好な居住環境を創出してきた。しかし、防災や安全上に不安を抱える地域もあるため、狭隘道路を解消し、幹線道路を始めとして歩道付き道路などを整備することにより、安全に歩行できる環境を構築するとともに、災害時に迅速かつ円滑な消防活動が出来、安全に避難出来る環境を創出する。併せて都市公園を整備することにより、発災直後に身を守ることが出来る環境を創出する。また、交差点改良を実施することにより、交通事故の削減に取り組む。これにより、安全・安心かつ快適に暮らすことができる、未来へとつながるまちづくりを行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,676	A	4,425	B	0	C	251	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	5.36	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	R3末
1	土地区画整理事業施行地区内の人口を5,286人（H29当初）から6,313人（R3末）に増加 土地区画整理事業3地区内の人口を累計する。 当初現況値：平成29年4月の地区内人口、最終目標値：令和3年度末の地区内人口	5286人	人	6313人
2	土地区画整理事業施行地区内における安全で安心して通行できる歩道付き道路の整備率を54.0%（H29当初）から100%（R3末）に増加 土地区画整理事業3地区内の歩道付き道路の整備率を算出する。 （歩道付き道路の整備率）=（施工済延長）/（計画上の総延長）	54%	%	100%
3	土地区画整理事業施行地区内における消防車両進入困難区域率を10.0%（H29当初）から0.6%（R3末）に減少 土地区画整理事業3地区内の消防車両進入困難区域率を算出する。 （消防車両進入困難区域率）=（幅員4メートル未満の道路に連続して接している区域面積）/（土地区画整理事業3地区総面積）	10%	%	1%
4	豊橋牟呂坂津土地区画整理事業施行地区に隣接し、都市計画道路大西東脇線に接続する交差点における交通事故件数を2割減少 交差点改良実施箇所における交通事故件数の減少率を算出する。 1 - （交差点改良実施完了翌年からの平均交通事故件数）/（平成26～30年の平均交通事故件数）	0%	%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	-	豊橋牟呂坂津土地区画整理事業(1-A-1)	都市再生区画整理 21.2ha	豊橋市						1,142		-	
	A13-002	市街地	一般	豊橋市	間接	組合	-	-	豊橋牛川西部土地区画整理事業(1-A-2)	都市再生区画整理 43.0ha	豊橋市						630		-	
	A13-003	市街地	一般	豊橋市	間接	組合	-	-	豊橋柳生川南部土地区画整理事業(1-A-3)	都市再生区画整理 66.5ha	豊橋市						2,265		-	
												小計						4,037		
道路事業	A01-004	街路	一般	豊橋市	直接	豊橋市	区画	改築	豊橋牟呂坂津地区((都)三ツ山通)(1-A-4)	道路延長 732m	豊橋市						340		-	
	A01-005	道路	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都道府県道	交安	牟呂外神町交差点ほか	交差点改良2箇所	豊橋市						48		-	
												小計						388		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						4,425			

C 効果促進事業																			
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	-	三ツ山公園(1-C-1)	公園施設整備 0.45ha	豊橋市					85	-		
		都市再生区画整理事業(1-A-1)の区域内に都市公園を整備することにより、災害時の一時避難場所として活用するとともに、ゆとりを感じることができる居住環境の創出に寄与する。																	
	C13-002	市街地	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	-	牛川洗島第一公園(1-C-2)	公園施設整備 0.25ha	豊橋市					40	-		
		都市再生区画整理事業(1-A-2)の区域内に都市公園を整備することにより、災害時の一時避難場所として活用するとともに、ゆとりを感じることができる居住環境の創出に寄与する。																	
	C13-003	市街地	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	-	牛川西側公園(1-C-3)	公園施設整備 0.25ha	豊橋市					50	-		
		都市再生区画整理事業(1-A-2)の区域内に都市公園を整備することにより、災害時の一時避難場所として活用するとともに、ゆとりを感じることができる居住環境の創出に寄与する。																	
	C13-004	市街地	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	-	松島公園(1-C-4)	公園施設整備 0.18ha	豊橋市					70	-		
		都市再生区画整理事業(1-A-3)の区域内に都市公園を整備することにより、災害時の一時避難場所として活用するとともに、ゆとりを感じることができる居住環境の創出に寄与する。																	
	C13-005	市街地	一般	豊橋市	直接	豊橋市	-	-	土地区画整理事業地区内 交差点安全対策事業(1-C- 6)	道路照明灯9基、道路反射鏡9 基	豊橋市					6	-		
		都市再生区画整理事業(1-A-1,1-A-2,1-A-3)とともに地区内の交差点において安全対策を行うことにより、一層の歩行者の安全が確保でき、安全・安心な居住環境の創出に寄与する																	
											小計					251			
											合計					251			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊橋市（区画整理課）、牛川西部土地区画整理組合、柳生川南部土地区画整理組合で実施	令和6年3月
	公表の方法
	豊橋市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	狭隘道路の解消、歩道付き道路の整備、都市公園整備及び交差点改良により安全・安心かつ快適に暮らすことができる居住環境を創出した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	複数の商業施設が進出し、地区内の利便性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
新たな整備計画「豊橋市の安全・安心かつ快適に暮らすことができる、未来へつなぐまちづくり（防災・安全）」に基づき各目標の達成に向け引き続き事業を実施していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	3地区内の人口を5,286人（H29当初）から6,313人（R3末）に増加させる。	
	最終目標値	6313人 安全・安心な居住環境を創出するとともに計画的な整備による保留地販売が進んだため。
	最終実績値	6685人
2	3地区内の歩道付き道路の整備率を54.0%（H29当初）から100%（R3末）に増加させる。	
	最終目標値	100% 関係者との調整に時間を要したため。
	最終実績値	86%
3	3地区内の消防車両進入困難区域率を10.0%（H29当初）から0.6%（R3末）に減少させる。	
	最終目標値	1% 関係者との調整に時間を要したため。
	最終実績値	2%
4	交差点改良実施箇所における交通事故件数を2割減少させる。	
	最終目標値	20% 交通事故の発生なし。
	最終実績値	100%